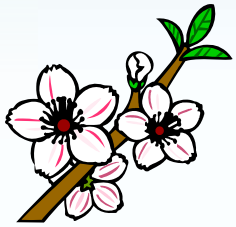
河川の連携・地域をつなぐ明日への水　思川開発

思川だより



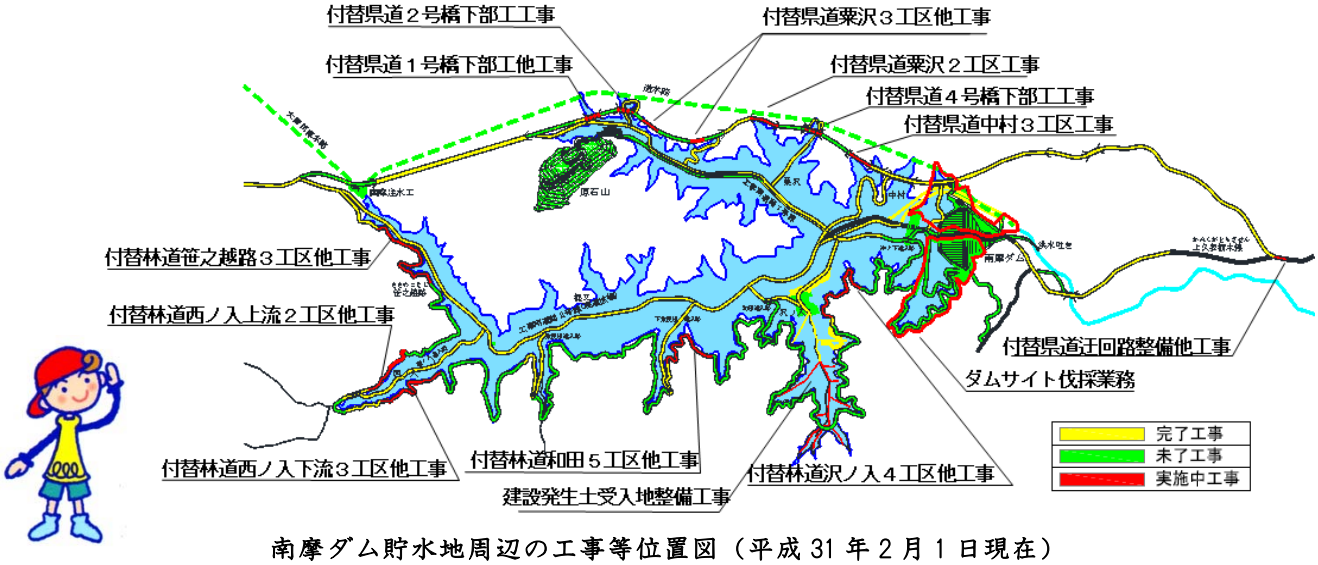
平成３１年２月７日　第６６号

南摩ダム関連工事等の状況

現在、当建設所では付替道路関連工事を12件、ダム本体の準備工事を2件、導水施設本体の準備工事を1件、事業地内の維持工事を1件実施しています。

ダム本体及び周辺の立木伐採を行う「ダムサイト伐採業務」では、1月末までにダムサイトの左岸側が100%、右岸側が約50%の立木伐採を完了し、ダムサイトの山肌が見えてきました。また付替道路工事のうち、橋梁の橋台・橋脚を建設する下部工工事は、基礎工が完了し、コンクリート柱の構築が盛期を迎えています。さらに2月より導水施設本体の準備として、工事用車両通行時の安全対策を目的した、「引田（ひきた）地区道路拡幅下流工区工事」に着手しました。

引き続き工事車両の通行など安全対策に万全を期して参りますので、ご理解とご協力をお願い致します。



南摩ダム貯水地周辺の工事等位置図（平成 31 年２月１日現在）

ダムサイトの状況（平成 31 年１月）

下部工工事の状況（付替県道２号橋）
（平成 31 年１月）

認知症サポーター養成講習会を開催しました

認知症役の講師を相手に対応方法を学ぶ職員

11 月 27 日(火)に地域連携の一環として、当建設所初となる認知症サポーター養成講習会を開催しました。

同サポーター養成講座は、「認知症になっても安心して暮らし続けられる町づくり」をテーマに全国で展開されており、本講習会には地元鹿沼西地区からケアマネージャー、社会福祉士など４名の講師にお越しいただきました。認知症の症状の説明、予防体操(実技)、演劇を交えた対応の心得などの講義を受け、認識を新たにしました。講義終了後、サポーターの証として、全員が「オレンジリング」を受け取りました。

安全運転講習会を実施しました

当建設所では、昨年 12 月、鹿沼市内に所在する栃木県交通安全教育センター内の運転体験学習コースで安全運転講習会を実施しました。この講習会は、さまざまな危険場面を体験することにより実際の道路上での安全走行に役立てるものです。参加者は、凍結路面を想定した「スキッドバンコース」での急ハンドルや急ブレーキ操作がもたらす制動状況や「夜間蒸発現象コース」などで判断力、事故回避能力の向上を学ぶことができました。

さまざまなリスクが配置された各コースの事前説明

「スキッドバンンコース」での制動状況体験

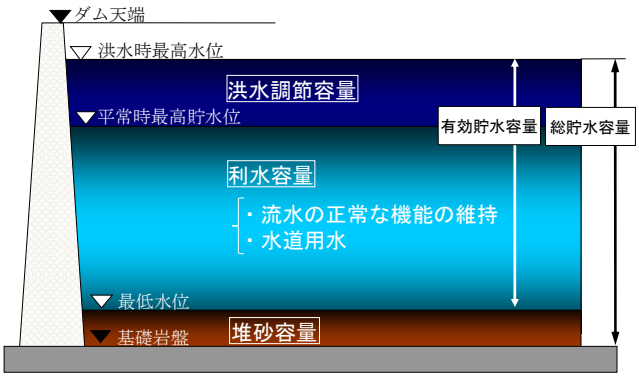
ダムの豆知識 11

＜多目的ダム＞

ダムには、洪水調節（治水）、農業用水、水道用水、工業用水、流水の正常な機能の維持（既得用水の補給、河川環境の維持等）、発電などいろいろな目的があります。これらの中から複数の目的を兼ね備えたダムを「多目的ダム」と呼んでいます。

南摩ダムも、①洪水調節、②水道用水、③流水の正常な機能の維持の３つの目的を有しているため「多目的ダム」に分類されます。多目的ダムでは、目的別に貯水池の容量が定められており、右図の様なイメージとなります。

なお、堆砂(たいさ)容量は、一般に100年間で貯水池に貯まる土砂の量を想定しており、上記の目的とは別に確保されています。



上南摩の動植物

和名：ツチガエル（両生類）　学名：*Glandirana（Rana）rugosa*
目名：無尾目（カエル目）　科名：アカガエル科
分布：本州・四国・九州とその周辺の島嶼（とうしょ）（栃木県内：標高50mの低地から1270mの山地まで幅広く生息）
栃木県：絶滅危惧Ⅱ類（Bランク）

成体の体長は雄が平均41mm、雌が平均50mmで雌の方が大きい。産卵は5月末から8月末にみられ、多くの幼生は越冬し、翌年の5～8月に変態する。学名は「皺（しわ）の多いカエル」という意味。背面は灰褐色で大小の瘤起（りゅうき）を持ち、腹面は灰色で一面に黒灰色の点を持つ。捕らえられると悪臭を放つためかヘビ類等に捕食されることは少ない。「ギュウギュウ…」という鳴き声を発する。

河川、湿地、池、水田とその水路など、1年を通し水がある場所に生息する。県内では、水田で見られるカエルとして広く分布していたが、圃場（ほじょう）整備による水田の乾田化、水路や小川のU字溝化により生息地が減少し、湿地や水田域よりも河川域に生息するカエルという分布に変遷している。事業地内では環境保全地をはじめ、河川周辺で確認されている。（出典：レッドデータブックとちぎ2018改訂版,日本のカエル図鑑第3版（1993））

再発見！鹿沼の魅力（第11回）

四季を通して楽しめる「花木（かぼく）センター」の花々と味覚

寒さ厳しい1月。街路樹はきれいに葉を落とし、遠くには真っ白に冠雪している日光連山などの山々が見えます。この冬景色の中、色鮮やかな花々が目を楽しませてくれる場所、それが「鹿沼市花木センター」（入場無料）です。

鹿沼市内の茂呂（もろ）地区にある広いセンターの各施設には寄せ植え、盆栽、果樹苗などのほか多くのガーデニング用品が展示販売されています。特にこの時期、目を奪うのが各種クリスマスローズ。気品と華やかさをアピールしており、２月には祭典イベントも予定されています。また、味覚ではセンター内でイチゴ狩り（完全予約制）が１月からスタート。２月には、イチゴづくしの魅力的なイベントが開催され、鹿沼市（いちご市宣言）のフレッシュ、ジューシーな本場のイチゴの味を存分に楽しむことができます。

2月17日（日）新作いちごメニューなどを販売する「いちごのもり」開催。2月9，10日にはプレイベントも開催されます。

鹿沼市花木センターの広い敷地
31年1月撮影（２月には梅の花も見頃となります）

特設コーナーを彩る各種のクリスマスローズ

思 川 散 策

“思わずいきたくなる思川” を発見する「思川散策」
今回は伝統行事「どんど焼き」をピックアップ！

昔から年始に見られる日本の原風景「どんど焼き」は、思川沿線でも見られます。

どんど焼き(室瀬地区)

ダムサイト下流に位置する室瀬地区で１月 12 日(土)に行われた「どんど焼き」にお邪魔してきました。本地区のどんど焼きは、無病息災を祈願し、毎年行われる伝統行事で１年間の役目を終えた「だるま」のお焚き上げやどんど焼きの火で焼いたお餅を食べる事が特徴です。竹で作られた櫓が燃えさかる様子は圧巻です。

各ご家庭から持参したお新香や甘酒、どんど焼きで焼いたお餅をごちそうになりながら暖かい火にあたり、心も体もほっこり。これで今年も元気で過ごせそうです。

室瀬地区の皆様、ありがとうございました。

下野かるたより

栃木県内の地元かるたを用いて、
様々な歴史・文物を紹介するこのコーナー。
引き続き、『下野かるた』（栃木県文化協会発行）からの紹介です。

＜干瓢の白すだれ＞

節分に食べる恵方巻きも定番となってきましたね！そんな恵方巻きに欠かせないのが「かんぴょう」です。今号では下野かるたより「かんぴょう」をご紹介します。

稲荷ずしやのり巻きによく使われるかんぴょうは、栃木県の特産品です。石橋、壬生、小山など県の南西部で栽培されています。

夏の収穫期になると、「かんぴょう」を下げて干す様子が、まるで純白のすだれのように見えます。

今から約三百年前に、壬生城主の鳥居忠英が旧領地の滋賀県から種をとりよせ領民に栽培させたのが栃木県での「かんぴょう」生産の始まりなのだそうです。

編集後記

今年の冬もインフルエンザが流行しています。

暦では大寒も過ぎ、立春を迎えましたが、まだまだ寒い日が続きそうです。皆様におかれましては、くれぐれもお体に気をつけてお過ごしください。春の到来はもう少しです。

お知らせ

▼思川開発建設所では、現場案内を随時開催しています！詳しくはお電話またはＨＰをご覧下さい！

▼「思川だより」に関するご意見・ご要望を募集しています！お気軽に下記連絡先までお寄せ下さい！

編集・発行

水がささえる豊かな社会

独立行政法人水資源機構　思川開発建設所

〒322-0305　栃木県鹿沼市口粟野　839-2

Ｔｅｌ（0289）85-1110　　Ｆａｘ（0289）85-1211

http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/index.htm

思川開発　検索